

MINIMINI MINES

平成30年度第5回 鉱業博物館開放講座 ゲテ街道およびシルバー街道の橋梁 が開催されました



バスタイ橋



川上 洵先生



聴講する参加者の皆さん

平成31年3月13日(水)、第5回鉱業博物館開放講座「ゲテ街道およびシルバー街道の橋梁」が開催され、橋梁をテーマに、ドイツの歴史的な文化遺産が紹介されました。講師は、川上 洵 秋田大学名誉教授が務めました。

講演で紹介された橋は、川上氏が訪れたドイツのゲテ街道およびシルバー街道にあるユニークな橋梁で、主に、山頂に架けられ観光地としても知られるバスタイ橋(タイトル背景の画像)、1472年にエアフルト商人が商店や住居を橋上に建設したクレーマー橋、世界初のPC橋であるアウエ橋、世界最大の

レンガ造りのアーチ橋であるゲルチタール鉄道高架橋が取り上げられました。

始めに紹介されたバスタイ橋は、13世紀に木橋として架けられました。1851年には石橋に架け替えられました。山頂の岩と岩を繋ぐように掛けられたアーチ橋で、1819年に詩人ゲーテの息子が訪れた際には、橋までたどり着くのが大変なので山小屋がほしい、と旅日記に書き記したそうです。

次に紹介されたアウエ橋は1937年に完成した世界初のプレストレストコンクリート(以下PC)橋です。コンクリート

には、圧縮に強く、引っ張る力には弱いという性質がありますが、PCは、予めコンクリートに圧縮力を与えたもので、渡橋の際の荷重にも耐えることができます。現在利用されている橋の約半分はPC橋なのだそうです。なお、アウエ橋は、劣化や損傷のため1995年に架け替えられています。

講演には約30名の方が参加し、スライドで次々に紹介される、珍しい橋やその構造の説明に聞き入っていました。

講演で紹介された橋



クレーマー橋



アウエ橋



ゲルチタール鉄道高架橋

平成30年 鉱業博物館来館者アンケート 集計結果から

前号ミニミニマイズ270号では、平成30年の鉱業博物館来館者アンケートの集計結果のうち、「当館を知ったきっかけ」「面白かったもの、興味を引かれたもの」について報告しました。本号では、ご意見や提案について紹介します。なお、この集計は平成30年4月1日から12月31日までの入館者6,781名のうち、アンケートにお答えいただいた1,035名の方の回答をまとめたものです。

博物館へのご意見として多かったのは、標本名のラベルの漢字にふりがなを付けてほしい、展示パネルの説明文が難しいので分かりやすくしてほしい、といった展示の標記や説明に関するものでした。難読な標本名については、ふりがな入りのラベルに交換する作業を進めております。展示パネルについては、高校生程度の学力に合わせたものを導入しております。展示をより分かりや

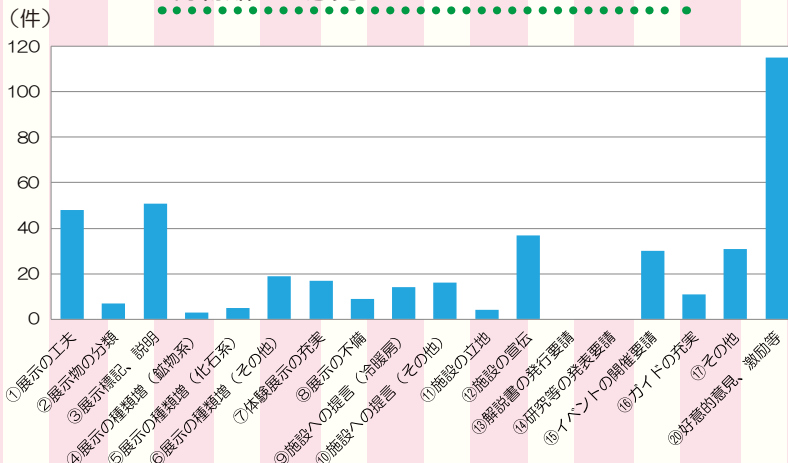
く見ていただけるように、一週間前までのご予約で無料でガイドを付けることができます。大変好評ですのでぜひご利用ください。

また、PR不足ではないか、とのご指摘がありました。テレビやラジオなどでの広告は出来ませんが、マスコミの取材には積極的に対応しております。その他、特別展開催を周知するためのポスターやチラシの配布、にぎわい交流館AUでの出張展示、観光サイトで情報の掲載といった広報活動をしており、今後も継続して行ってまいります。

所々に休憩用の椅子を置いてほしいというご要望があり、1階のロビーに椅子を設置しました。2階には展示室内と休憩コーナーにソファがございますのでどうぞご利用ください。

そして多くの方から、非常に素晴らしい展示だった、今後も継続してほしい、などの感想をいただきました。ありがとうございました。皆様のご意見を参考にし、今後の当館運営の改善に努めてまいります。

博物館への意見(自由記述からグループ分け)



平成30年度 鉱業博物館サイエンスボランティア 意見交換会 が開催されました



今井鉱業博物館長

平成31年3月20日(水)、鉱業博物館サイエンスボランティア(以下、SV)意見交換会が行われました。始めに今井 忠男 鉱業博物館長から、見学者の案内や環境整備など、日ごろの活動への感謝の言葉がありました。また、事務担当からは平成30年度の事業報告がありました。

意見交換では、主に館内案内について議論されました。現在、館内案内が可能な人員が不足しており、ガイドを養成することが急務となっております。現状では予約に応じて案内をしておりますが、SVの皆さんからは、常にだれかが館内に常駐し、案内できる体制を整えると良い、という意見や、難しく考えず実践することで上達するものなので、ぜひガイドに挑戦してほしい、といった意見もありました。今井館長からはガイド用のテキストを作成したい、また、業務体験の実習生などの学生が案内する方法も検討している、との考えが述べられました。



意見交換会の様子

最後に、平成31年度の事業について説明があり、6月27日(木)、28日(金)に「第22回大学博物館等協議会・第14回博物科学会秋田大会」を当館が実行委員事務局となって開催する予定であることが告げられました。今井館長は、この大会では前日の準備や参加者の誘導など、あらゆる場面で人手が必要となるためぜひ皆さんの力を貸していただきたい、と協力を呼び掛けました。

今回の意見交換会では、SVの皆さんから大変貴重な意見が多く出されました。当館の運営に、皆さんの意見を良い形で反映していきたいと考えております。

鉱業博物館サイエンスボランティア募集

鉱業博物館では、平成31年度鉱業博物館サイエンスボランティアを募集します。サイエンスボランティアは、博物館の様々な活動に参加し運営をサポートしつつ、ご協力いただいた方の生涯学習の場でもあります。活動内容は、館内の案内や、団体客見学者の誘導、環境整備、工作や情報分野の作業などです。

鉱物や化石、鉱山に興味がある方、木工や電気などの特技を活かしたい方、社会貢献活動をしたい方などの参加を募集しております。また、活動をサポートするため、当館の概要や標本について解説する講習会や野外での研修会を実施しております。下記問い合わせ先まで、お気軽にお問い合わせください。

■活動期間 平成31年4月1日～
翌年3月31日までの一年間

■活動内容 見学者への案内と説明
見学のサポート
環境整備など

■募集対象 高校生以上の方であれば、どなたでも
参加いただけます。

※登録者には鉱業博物館負担による傷害保険に加入
いただいております。

問い合わせ先 鉱業博物館 事務局
TEL: 018-889-2461
(土日祝除く9時～16時)
E-mail: w3admin@mus.akita-u.ac.jp

活動はできる範囲で
結構です!



中学生への館内案内



研修会の様子

NHK みんなのうた

鉱業博物館の鉱物が 戦隊ヒーローになって登場!

NHK番組「みんなのうた」で平成31年4、5月の曲「超変身! ミネラルフォーマーズ」の映像の中で当館の赤鉄鉱や方解石など数種類の鉱物が、戦隊ヒーローとなって登場します。鉱物が形を変えてどのような用途で使われているのかが分かる内容となっております。遊び心を交えた歌詞と映像をお楽しみください。

放送時間は不定期です。新聞テレビ欄や「みんなのうた」ウェブサイトでご確認ください。

CS放送「明日への扉—秋田銀線細工職人—」 資料の画像を提供しました

平成31年1月、CS放送の番組「明日への扉—秋田銀線細工職人—」に、当館所蔵の絵図の画像を提供しました。提供した資料は「院内銀山鋪岡略絵図」(1856年)で、藩政時代に秋田で銀の生産が盛んに行われていたことを示す資料として映像が流れました。

放送は終了しましたが、インターネットで動画の視聴が可能です。「明日への扉 アットホーム」で検索し、「秋田県秋田銀線細工職人」「動画を見る」を選択するとご覧いただけます。

鉱業博物館無料開放予定

- 科学技術週間
4月20日(土)・4月21日(日)
- 地質の日
5月10日(金)
- 国際博物館の日
5月18日(土)・19日(日)

次号のミニマインズは5月末発行予定です。